

令和3年3月1日

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学環日本海域環境研究センター 「2020年度共同研究成果報告会」を開催

金沢大学環日本海域環境研究センターでは、平成28年度から文部科学省の共同利用・共同研究拠点に認定され、国内・国外の関連機関と連携して、環日本海域に関連する自然環境の解明を目指した応用的な共同研究を推進しています。

このたび、この共同研究の本年度成果報告会を2日間にわたって開催します。越境汚染物質の長期観測結果やヒトを含む生物への影響など多岐にわたる研究成果が紹介されます。

さらに、本成果報告会と合わせて、本センター連携部門による第5回国際シンポジウムを開催します。

つきましては、当日の取材・報道をどうぞよろしくお願ひいたします。

金沢大学環日本海域環境研究センター

2020年度共同研究成果報告会

日時： 令和3年3月11日(木) 13:00～16:55

3月12日(金) 9:10～12:00

場所： 金沢大学自然科学大講義棟 AV講義室 (オンライン併用)

同時開催 環日本海域環境研究センター連携部門 第5回国際テーマシンポジウム
「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」

日時： 令和3年3月12日(金) 14:00～16:40

場所： 金沢大学自然科学大講義棟 AV講義室 (オンライン併用)

※いずれも詳細は別紙チラシをご参照ください。

<本件照会先>

金沢大学環日本海域環境研究センター教授 長谷部 徳子 Tel: 076-264-6529

金沢大学理工系事務部総務課総務係 尾崎 慶子 Tel: 076-234-6821

金沢大学環日本海域環境研究センター 2020年度共同研究成果報告会

日時：2021年3月11日(木) 第1部 13:00-16:55

2021年3月12日(金) 第2部 9:10-12:00

場所：オンライン開催 (Zoom)

参加申込サイト <http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/symposium/kyoudou2020/>



※参加希望の方は、上記アドレスまたは右のQRコードからお申込みください。(3月9日締切)

3/11
(木)

13:00 - 13:10 開会挨拶
13:10 - 16:10 一般共同研究課題 (11件)
16:10 - 16:55 若手研究者育成共同研究課題 (3件)

3/12
(金)

09:10 - 10:10 重点共同研究課題 (3件)
10:20 - 11:50 一般共同研究課題 (6件)
11:50 - 12:00 閉会挨拶



【主催】 金沢大学環日本海域環境研究センター

【問合せ】 金沢大学環日本海域環境研究センター TEL: 076-234-6961

URL: <http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/>

第5回金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門
国際テーマシンポジウム

東アジアの農村社会・都市社会 をめぐる環境とその発展



<シンポジウムの趣旨>

今世紀になって急速な工業発展を成し遂げた中国は、急激な経済発展の代償ともいえる深刻な環境汚染問題や社会問題に直面しています。このような中国の経済発展を支えた農村の社会環境や都市社会環境がどのようなものなのかをこのシンポジウムでは検討し、その比較として日本の農村社会の現状を取り上げます。さらに、環境保全型農業の取り組みや絶滅危惧種の保全、農業問題、世界農業遺産での人材育成プログラムの話題を提供し、東アジアの農村社会・都市社会をとりまく環境とその持続的発展についての議論を深めます。

<プログラム>

塚脇真二：シンポジウム「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」

張 晶晶：村落政治におけるヤオ族の女性リーダーについて

張 文明：中国農村における内発的発展の可能性に関する一考察

市原あかね：農業農村消滅の危機と再生の可能性：日本の現状を踏まえて

中村浩二：持続発展のための世界農業遺産サイトの相互交流

荒木祐二：農地の生物多様性をはぐくむ日本の環境保全型農業

岡田 遥：草地生態系における絶滅危惧種の保全－田島ヶ原サクラソウ自生地を例に－

本田匡人：石川県の都市部および郊外部における人間社会への農業の暴露と蓄積

馬 露：大気汚染が性と生殖に関する機能に及ぼす影響



日 時：2021年3月12日（金）、午後1時半開場

場 所：金沢大学自然科学大講義棟1階AV講義室

問合せ：金沢大学環日本海域環境研究センター事務

Email: kannahon-jimu@ml.kanazawa-u.ac.jp

Phone: 076-234-6961



第5回環日本海域環境研究センター連携部門 国際テーマシンポジウム
「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」

第五届国际合作研讨会 金沢大学環日本海域環境研究中心
“城乡可持续发展与生态文明”

日 時：2021年3月12日（金）14時00分～

場 所：金沢大学自然科学大講義棟AV講義室（オンライン併用）

○シンポジウムの趣旨

今世紀になって急速な工業発展を成し遂げた中国は、急激な経済発展の代償ともいえる深刻な環境汚染問題や社会問題に直面しています。このような中国の経済発展を支えた農村の社会環境や都市社会環境がどのようなものなのかをこのシンポジウムでは検討し、その比較として日本の農村社会の現状を取り上げます。さらに、環境保全型農業の取り組みや絶滅危惧種の保全、農薬問題、世界農業遺産での人材育成プログラムの話題を提供し、東アジアの農村社会・都市社会をとりまく環境とその持続的発展についての議論を深めます。

○プログラム

13:30 開 場

座長：小林信介

14:00-14:05 環日本海域環境研究センター連携部門国際テーマシンポジウム「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」・・・塚脇真二（金沢大学）

14:05-14:20 村落政治におけるヤオ族の女性リーダーについて（瑶族女性村組干部的崛起—以中国广西金秀L村为例—）・・・張 晶晶（華中師範大学）

14:20-14:35 中国農村における内発的発展の可能性に関する一考察—中部三村を例として—（中国农村内生发展的可能性考察—以江西N村为例—）・・・張 文明（華東師範大学）

14:35-14:40 農業農村消滅の危機と再生の可能性：日本の現状を踏まえて・・・市原あかね（金沢大学）

14:40-14:55 持続発展のための世界農業遺産サイトの相互交流（6年間の成果と今後の展望）：能登および佐渡（日本）とイフガオ棚田（フィリピン）・・・中村浩二（石川県立自然史資料館）・エドパリナ R.（金沢大学）・ドゥルヌアン E.（国立イフガオ大学）

14:55-15:10 休 憩

座長：古泉達矢

15:10-15:25 農地の生物多様性をはぐくむ日本の環境保全型農業・・・荒木祐二（埼玉大学）

15:25-15:40 草地生態系における絶滅危惧種の保全—さいたま市田島ヶ原サクラソウ自生地を例に—・・・岡田 遥・辻原毬乃・荒木祐二（埼玉大学）・塚脇真二（金沢大学）

15:40-15:55 石川県の都市部および郊外部における人間社会への農薬の暴露と蓄積・・・本田匡人（金沢大学）

15:55-16:10 大気汚染が性と生殖に関する機能に及ぼす影響・・・任 戦・馬 露（武漢大学）

16:10-16:40 総括討論

16:40 閉 会